

## 令和3年度 第1回宇都宮市保健衛生審議会 議事録

■ 日 時 令和4年2月24日（木）午後7時00分～午後8時20分

■ 場 所 宇都宮市役所 大会議室（14階）

### ■ 出席者

#### 1 委 員（16名）

福田委員，柴田委員，松本委員，北條委員，高野澤委員，朝野委員，松田委員，野間委員，寺内委員，齋藤委員，福田（治）委員，古澤委員，檜山委員，大澤委員，青木委員，竹澤委員，高橋委員（委員名簿順）

※欠席委員：中村委員，小橋委員，青木委員，池田委員，豊田委員

#### 2 事務局（名）

[保健福祉部] 部長，次長（保健衛生担当），保健所長，

[保健所総務課] 課長，課長補佐，企画グループ係長，職員4名

[健康増進課] 課長，企画グループ係長，健康づくりグループ係長，職員2名

[保健予防課] 課長，主幹，課長補佐2名，管理調整グループ係長

[生活衛生課] 課長，課長補佐，環境衛生グループ係長

[衛生環境試験所] 所長

■ 公開・非公開の別 公開

■ 傍聴者・記者 なし

### ■ 会議経過

#### 1 開 会

- ・ 委員の過半数が出席しており，本審議会は有効であることを報告

#### 2 あいさつ（保健福祉部長）

#### 3 新任委員紹介

#### 4 会長及び副会長の選出

- ・ 当審議会規則に基づく委員の互選により，会長に松本委員，副会長に柴田委員を選出
- ・ 会長より就任あいさつ

#### 5 議事

- (1) 本市の新型コロナウイルス感染症の対応等について
- (2) 「(仮称)第4次宇都宮市食育推進計画」(案)について
- (3) 健康づくりのガイドブックについて
- (4) 「宇都宮市動物愛護センター」の運用開始について
- (5) 夜間休日救急診療所における状況等について

## 委員からの主な意見・質問等（要旨）

### （１）資料１ 本市の新型コロナウイルス感染症の対応等について

●委員： 意見なし

### （２）資料２ 「(仮称)第４次宇都宮市食育推進計画」(案)について

●委員： 意見なし

### （３）健康づくりのガイドブックについて

●委員： よくできているため、積極的に活用し、若者や働く世代だけでなく広く市民に周知していただきたい。

○事務局： 今後、健康づくり関連の講座等で積極的に活用する予定である。また、広く周知するため、パソコンやスマートフォンからダウンロードし手軽に確認できる電子書籍をホームページにおいて掲載している。

●委員： 市のホームページは、掲載場所までたどりつけないことがあるため、すぐに見られるように工夫してもらいたい。また、食育にもつながるため、特に子育て前の世代に意識してもらうためにも積極的な活用をお願いしたい。

### （４）「宇都宮市動物愛護センター」の運用開始について

●委員： 意見なし

### （５）夜間休日救急診療所における状況等について

●委員： 夜休診の利用状況から患者数の減少がみられることについて、どのような評価・検証を行っているのか。

○事務局： まず、患者数の減少については、市として、長年、「適正受診」の促進（救急受診の手引き等による周知啓発など）を図ってきたことが患者数の減少に繋がっていると考えられる。

県が実施している「とちぎ子ども救急電話相談」について、子どもの急な病気やけがに関する家庭での対処方法を看護師がアドバイスする電話相談の窓口であり、平成２５年３、２５２件だったのが、令和２年度は４、７３８件と相談件数が増えている状況である。また、大人の救急電話相談についても、平成２８年度は１５５件だったのが、令和２年度は１、１０５件に増えており、患者数が自ら受診が必要か判断できるようになってきていることが、患者数の減少にも繋がっていると考えられる。

さらに、外部的な要因として、夜間に影響しているドラッグストアの数が、１０年前と比べ増えていることも、患者数の減少に繋がっていると思われる。

◎会長： 長年、診療所に従事している立場から、以前は、夜間に受診する必要性が低い患者も多くいたが、適正受診の浸透や夜間営業しているドラッグストアもあることから、患者自身が自ら受診の必要性を判断するようになり、真に受診が必要な患者に落ち着きつつあると感じる。

３年前の年末年始の際は、待合室が患者であふれていたが、現在は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、発熱外来の全ての患者を診療所内では診療できないため、タブレット診療や屋外のコンテナでの診療で対応している状況であり、患者の意識も含めて夜休診の状況が変化していると思われる。

## ６ その他

## ７ 閉会